

平成 29 年度

萩市消費生活モニター通信③



萩市 消費生活センター

萩市消費生活モニター通信③ 目次

架空請求	1
牛乳パックの開け口	2
人口減少対策について	2～3
エコプラザ萩・大井不燃物埋立処分場を見学して.....	3
燃やせるゴミの袋について	4
高齢者の見守りについて	5～6
研修会に参加して	6
消費生活モニターを終えて.....	6

架空請求

先日、テレビで「はがき」等による詐欺のことを伝えていました。どのような例があるのか知りたいです。

(消費生活センター)

裁判所や実在する公的機関によく似た名称を名乗る機関から、利用した覚えのない契約について、無作為に「はがき」が送りつけられるもので、架空請求といいます。未払いがあり、連絡がないと訴訟を起こす等といった内容が記載されています。

驚かせて電話をかけさせ、お金を騙し取ろうとする詐欺なので、絶対に連絡をしないようにしてください。

万が一、連絡された場合には、再度相手から電話がかかる可能性がありますので、着信拒否、電話にでない、すぐに切るなどの対応をしてください。

萩市では、平成29年度152件の架空請求「はがき」に関する相談が寄せられています。そのほとんどが、主に60代、70代の女性を対象としたものです。

また、「はがき」以外で、電子メールによる架空請求も増加しています。

これも、「はがき」の場合と同様に、連絡をさせ、お金を騙し取ろうとする詐欺なので、絶対に連絡をしないようにしてください。

請求された内容に、不明な点や不安を感じた場合は、業者には連絡をせずに、まずは消費生活センターへ相談してください。



消費料金に関する 訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご通知致しましたのは、貴方の利用されていた契約会社、もしくは運営会社側から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出されました事をご通知致します。

管理番号(わ)308 裁判取り下げ最終期日を経て訴訟を開始させていただきます。

尚、このままご連絡なき場合は、原告側の主張が全面的に受理され、執行官立会いの下、給与差し押さえ及び動産、不動産の差し押さえを強制的に執行させていただきますので、裁判所執行官による執行証書の交付をご承諾いただきます様お願い致します。

裁判取り下げなどのご相談に関しましては、当局にて承っておりますので、お気軽にお問合わせ下さい。

尚、書面での通達となりますので、プライバシー保護の為、ご本人様からご連絡いただきます様、お願い申し上げます。

※取り下げ最終期日 平成30年4月17日

法務省管轄支局 民間訴訟告知センター
東京都千代田区霞が関2丁目1番9号
取り下げ等のお問い合わせ窓口 03-6741-7350
受付時間 9:00~20:00(日、祝日を除く)

実際の「はがき」裏面写

牛乳紙パックの開け口

いつも同じメーカーの牛乳を利用しています。開け口が見えにくく、よく間違えてしまいます。

開け口箇所の表示をもう少し色濃く、大きく印刷してあると助かります。



(消費生活センター)

消費者の声を製造元に伝えることで、製品の向上に繋がることがあります。

私たち消費者、皆の利益にもつながりますので、お客様相談窓口等に貴重なご意見を届けていただければと思います。

人口減少対策について

萩市では、平成 18 年に移住を目的とした萩暮らし応援センターを開設して、長年にわたり人口減少対策に取り組み、成果もあがっています。

また、阿武町においては、ワークショップやコミュニティビジネスの設立を通して人口減少に取り組んでいます。

地方都市において、人口減少は容易に歯止めがかからないと思いますが、長門市も含めて協力しあえる部分については、一体となって課題解決に知恵を出し合って取り組まれてはどうかと思います。



(地域づくり推進課)

萩市では、「萩暮らし応援センター」を核とし、人口減少に歯止めをかけるべく、移住者を呼び込むための施策を展開しています。平成 30 年 3 月には、平成 18 年に設置して以来、累計 200 世帯目の移住者を迎えることができました。

特に、移住者の住まいの確保を支援するとともに、空き家の利活用を図る「空き家情報バンク」の利用については、平成 29 年度登録件数 60 件、成約件数 39 件と共に過去最高の実績となりました。

広域連携の取り組みとしては、山口市と宇部市が中心となり近隣 4 市 1 町で連携協約締結した「山口県央連携都市圏域」で、広域的な UJ1 ターン促進対策及び移住定住者の地域定着に向けた取り組みを行っております。

また、県境に近接する浜田市、益田市、長門市、萩市の 4 市で、毎年 4 市長会議を行っており、山陰側の観光振興等、4 市を取り巻く共通の課題を協力しながら解決に取り組んでおります。

萩市では、急速な少子高齢化と若者流出により、社会減と自然減が同時に進行しており、厳しい状況にあります。現在、今後のまちづくりの指針となる「萩市基本ビジョン」の策定を進めており、この中では、社会増減の均衡と出生数の回復により、本市の人口減少を抑制することを目指しています。

人口は、将来にわたるまちづくりの根幹を成すもので、人口減少、少子化問題は、萩市の最大の課題であり、最優先に取り組むべき問題と考えております。限られた財源の中で、継続するものと縮小・廃止するものを見極めながら、一方で、新規事業の創設や既存事業の拡充などによる手立てを講じ、本市最大の課題解決に取り組んでまいります。

エコプラザ萩・大井不燃物埋立処分場を見学して

ゴミの分別作業をしている方々の大変さにびっくりしました。これほどとは思いませんでした。

近所でも、歯ブラシ、ストロー、計量スプーン、ハンガー等をプラスチック容器包装の袋に入れて出される方が多く、「それは燃やせるゴミですよ」と教えてあげたら、「何故？これは、プラスチックなのに」と言われました。材質で分別している人は、案外多くいると思います。また、容器包装という言葉に、とまどっている人も多いです。私は、『萩・家庭ゴミの分別と出し方ガイド』を参考にしながら、仕分けをしています。

作業をしている方々に、よく間違えて入って困るゴミの例を挙げてもらい、それを市報等で掲載すれば、間違いに気づく人が多くいると思います。

（環境衛生課）

ご指摘のあった件については、市報等でわかりやすい説明を行っていきます。また、萩市では下記のとおり萩市出前講座による学習事業を行っております。10人以上の市民で構成される団体やグループなら、どなたでも構いませんので、気軽にお問い合わせください。

○萩市出前講座のメニュー（環境衛生課の担当より抜粋）

- ・ごみの減量とリサイクル
- ・ごみの収集と処理

ご協力をお願いします。



大井不燃物埋立処分場

燃やせるゴミの袋について

萩・長門清掃工場はなもゆで受け入れをしてから、燃やせるゴミの範囲が広がりました。

そのため、燃やせるゴミ袋を多く使用するようになり、袋代も高くかかります。

他市では、透明な袋で代用できるところもあるようです。萩市でも、改善できる方法はありませんか。

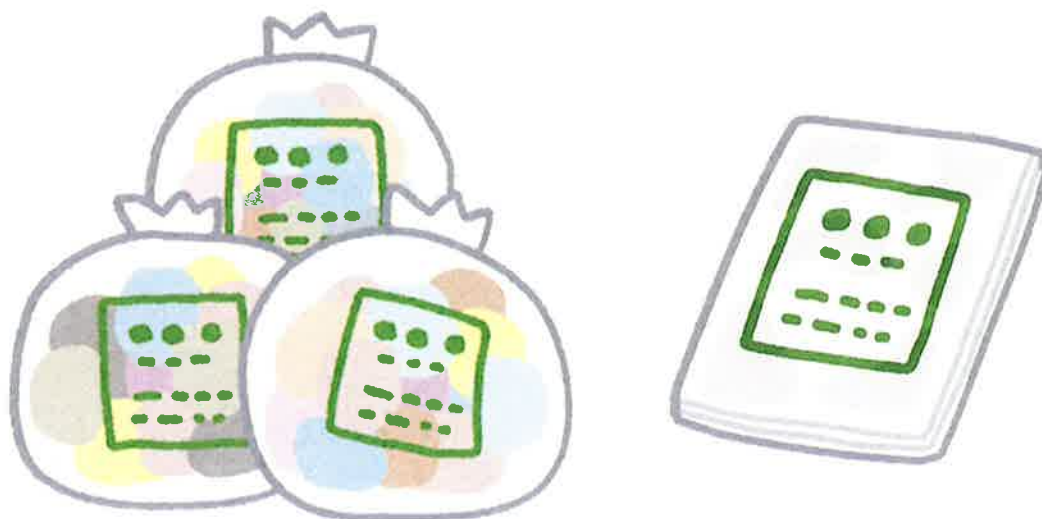
(環境衛生課)

萩市では、指定ゴミ袋制を採用し、ゴミ収集分の一部を市民の皆様にご負担していただくこととしております。ゴミ袋の代用等は現在のところ考えておりません。

また、毎年4月から5月にかけて萩市指定ゴミ袋の無料配布を各世帯人数に応じて配布しております。無料で配布した指定ゴミ袋は1枚から他の指定ゴミ袋と交換を行っています。例えば、プラスチック製容器包装の袋が3枚余った場合には燃やせるゴミ袋3枚と交換いたしております。

なお、いただいた貴重なご意見は今後の廃棄物行政への参考とさせていただきます。

引き続き、ごみの減量化とリサイクルの推進を図って参りますのでご協力をお願いします。



高齢者の見守りについて

私の住んでいる地域では、年に数回、軽度の認知症の方が運転をされ、道に迷われていることがあります。

軽度の認知症の方は、本人がそう感じておらず、関わる人もとても難しいと思います。自分から病院に行かれることは少なく、車の運転もされているでしょうから、軽度の認知症の方が一番心配であり、危ないと思います。

もし事故をおこすようなことがあれば、特に相手があれば、双方が一生つらい思いをかかえることになります。

私の知人は、軽度の認知症で車の運転をし、行方不明となりました。

このような方をなくすために、高齢者の見守り隊のような組織があればいいのではと思います。より確実に入っていただくためには、低料金でも報酬を出す形にされてはと思います。ボランティアで行うことも大切ですが、1人でも多くの方に入っていただくためには必要ではないかと思います。

不明になられた方が、もし自分の家族や大切な人だったらと思うと、1人でも命を必ず救おうと思う心で、そういう体制づくりが必要だと思いました。



(地域包括支援センター)

ご指摘のとおり、近年、認知症高齢者の交通事故が社会問題となっており、昨年施行された改正道路交通法では、認知症高齢者の運転対策が強化されたところです。

免許更新時の認知機能検査で「認知症のおそれあり」と判定された方には、医師の診断を受けることが義務化され、その診断の結果、認知症であることが判明したときは、免許の取消し等の対象となります。

そこで、地域包括支援センターでは、運転に不安のある高齢者に対し、警察などの関係機関や家族、地域と連携しながら、さまざまな支援を行っています。

- 警察や家族と一緒に、運転に不安のある高齢者に自主返納を勧めます。
⇒ 自主返納者は、警察が発行する「運転経歴証明書」によりタクシー料金の割引等の特典を受けることができます。
- 出前講座等により、車を使わない地域での生活を意識した、介護予防への取り組みを普及啓発していきます。
- 好事例から見つけられた有効な関わり方や手順を、家族や相談を受ける専門職（ケアマネージャー等）に情報提供します。

・支援が必要な高齢者を地域でいかに支えていくかを協議する「地域ささえあい協議体」において、地域課題として情報提供を行い、解決に向けた話し合いを行います。

⇒ 地域の支え合い活動に対しては、市から運営費の補助制度（要件有）もあります。

・万が一、高齢者が行方不明等になった場合は、防災メールによる情報提供の呼びかけを行う「徘徊・見守りSOSネットワーク」により、早期発見に繋がります。

また、車に頼らない地域生活が可能となるよう、市では、平成29～31年度にかけて、地域にとって望ましい公共交通網のすがたを明らかにする「萩市地域公共交通網形成計画」の策定に、交通事業者や地域住民と一緒に取り組んでおり、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちづくりを目指していきます。

研修会に参加して

「高齢者のネットトラブル等について」の研修会に参加させていただき、とても参考になりました。



©萩市消費生活センター

スマホやSNSの利用が増えている今、被害にあわないよう、いろんな知識を身につける事が必要だと思いました。

消費生活モニターを終えて

2年間、消費生活モニターをして、今まで知らなかったことを知る事ができ、とても感謝しています。

なかなか参加することができませんでしたが、これからも研修に参加させていただきたいと思っています。

萩市消費生活センター

0838-25-0999

訪問販売、架空請求、クーリング・オフなどの契約・
解約に関する問題や、多重債務、商品の安全性・品質
など消費生活全般の相談に応じます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

